

## 大問1

### 【全体】英文読解問題

昨今の世の中において、身近なトピックであるといえる AI の文章。内容としては、AI がどのように端を発し研究されたのか、加えてそれらをどのように使っていくべきかを考えていくというものである。読みづらい文ではないが、全体の分量の割に段落が多く、話題の展開についていく力が求められる。また、今回語句の注釈を一切設けておらず、語彙がわからない場合は推測して読んでいくしかない仕様になっている。英作文問題にしっかりと答えさせるため、前年度から設問を一つ減らしている。

### 【個別問題】

- 問1 文章補充の選択問題。当該段落の“Turing Test”がどのような実験であるかを正しく読み取り、機械の思考実験であるという選択肢を選ぶ。
- 問2 文章補充の選択問題。問1とは少し異なり、全体の流れを把握して答えなければならない。
- 問3 下線部和訳。主語につく関係詞、2つの異なる不定詞の用法、助動詞、文型を問う問題。
- 問4 語順整序問題。文末に give を残し、関係詞を使って文を組み立てる必要があることに気付くことができるかを問う。replace の意味を理解できているかも重要。
- 問5 issue には「刊行物」という意味のほかに、「問題」という意味もあることは高校英単語をやっていれば自明のことだが、その語彙力があるかを問う。たとえ知らなかったとしても、one problem、another issue…と文が展開していくので、それに気づけば答えられる。
- 問6 指示語抜き出し問題。it が指す、比較的直前にある personal information を答える問題。広く意味を解釈し、あえて privacy と答えた受験生もいたが、文脈的には前者の方が自然。不可算名詞が単数扱いで、it で受けていることもおさえておきたい。
- 問7 下線部の英文に対し、具体的な方法を日本語で説明する問題。「どのような」という聞き方をしているので、その後にある by training…and by teaching…の部分を答えられれば良い。結びも設問に合わせて「～こと」「～という方法」としたい。
- 問8 語形変化を答える。分詞の後置修飾がわかっていない受験生が多く、文脈上 used とするほかないが、答えられていなかった。
- 問9 本文内容一致問題。解釈上これが最適である、という選択肢を選ぶことができるかを問う。
- 問10 英作文。本文にある AI 以外に便利なものを答える問題。本部中の表現をあてにできないので、なるべく簡単な表現で実体験を述べていきたい。

## 大問2

### 【全体】

前年度の出題方式を踏襲した。前半部分与えられた英文に接続詞とその後の文章を選択する問題。英文を成立させるにあたり、重文か複文か、名詞節か副詞節か、どちらを選ぶかを問う。